

## スキャナ方式超高解像・広域デジタル顕微鏡 「SCAMERA-MIDnano-SCOPE」発表 (スキャメラ・ミッドナノスコープ)

2007年5月31日 ニューリー株式会社

ニューリー株式会社(代表取締役社長 井田敦夫)は、微細、微小サンプルを超高画質で読取れる独自新コンセプトスキャナのスキャメラ・スコープシリーズの最上位機種で、25,400dpi(分解能1ミクロン)のリアル光学解像度で、50400dpiの超高解像出力(分解能0.5ミクロン)を持つ、スキャナ方式超高解像・広域デジタル顕微鏡「SCAMERA-MIDnano-SCOPE」(スキャメラ・ミッドナノスコープ)を6月6日から開催される'07画像センシング展に出展し、発売開始することを発表します。

### ■用途(微細、微小サンプルのデジタル化、解析向けとして広範囲に活用できます。)

1. メディカル(生体細胞)、植物(変形菌等)向けプレパラートサンプル画像解析
2. 衛生研究所向け(花粉・ウイルス)プレパラートサンプル画像解析
3. 標本デジタル撮影
4. マイクロフィルム類原稿
5. 微小電子部品(チップ抵抗等)



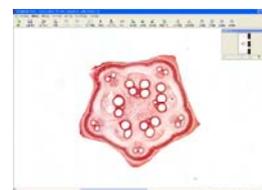
<スキャメラ・ミッドナノスコープ本体>

### ■特長

1. 20ミリ幅×70ミリ長の読取りエリア(プレパラート約4枚分)が、光学解像度25400dpi(分解能1ミクロン;1000本/mm;20,000×70,000=14億画素)でデジタル化ができます。
2. 光学歪;レンズ(主走査画像)仕様=0  
;主走査画像に湾曲ひずみがない
3. オートフォーカス機構で高さ20mmまで自動調整ができる。
4. 超高速ビューソフト「スキャメラ・アイズ」で、リアルタイムズーム&スクロールができる。  
・約250倍(ディスプレイ100dpi換算)の拡大率



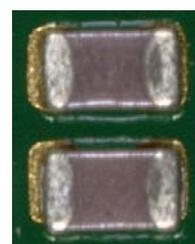
<原稿テーブル>



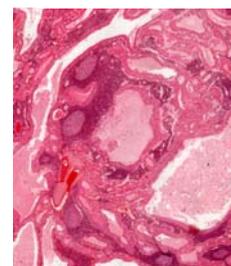
<スキャメラアイズソフト画面>

### ■仕様

- ・スキャン方式;光学ヘッド固定による原稿移動方式
- ・イメージセンサ;3ラインCCD/1PASSカラーキャン
- ・読取りサイズ;20mm幅×70mm長
- ・原稿テーブル;139mm×145mm
- ・光学/出力解像度;25400dpi/400~50800dpi
- ・スキャン速度;90秒/10mm
- ・階調性;8BIT:ビットシフト機能あり/16BIT量子化
- ・光源;白色LEDアレー×3(反射×2/透過×1)
- ・オートフォーカス;レーザー側長および画像計測によるZ軸移動方式
- ・高さ(Z軸);20mm
- ・インターフェース;USB2.0
- ・ドライバーソフト;超高速ビューソフト「スキャメラ・アイズ」付属
- ・外形;358(W)×700(D)×488(H)
- ・重量;約49kg



<0402抵抗チップ>



### ■販売計画

- ・本体価格;1200万

### ■販売計画

- ・10台~20台/年間

~~~~~本件に関するお問合せ先~~~~~

ニューリー株式会社 〒613-0031 京都府久世郡久御山町佐古外屋敷125

Tel:0774-43-3011 /Fax:0774-44-9288 /mail: info@newly.co.jp /URL: http://www.newly.co.jp